

事務事業名	コード1	18700	成人健康診査事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	健康管理課			款	項	目
	コード2	①	歯周疾患検診		<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	支援班					
施策体系	施策	5	保健の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	57-3113	内線	なし	4	1	2
	施策の展開	12	病気予防対策の充実		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計 一般会計					
				事業種別	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	根拠法令	健康増進法					
					事業種別	<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン						
				事業種別		<input type="checkbox"/> 主要事業						
					事業種別	<input type="checkbox"/> 簡易評価						

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 9 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳  <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで <input checked="" type="checkbox"/> 全体像を記述→	生涯自分の歯で健康で快適な生活が送れるよう、成人期の歯の喪失原因となる歯周疾患を予防するため、40歳・50歳・60歳・70歳を対象に節目検診を実施する事業である。6月～9月の4か月間、市内指定歯科医院にて実施する。  <b>【業務の流れ】</b> 事業の周知(勸奨通知、広報、HP、ポスター、チラシ等)→申込者登録→申込者へ受診券を郵送→歯科医師会と契約締結 歯科医院より月実績及び請求書の提出→受診者の検診結果入力→未受診者勸奨通知→委託料の支払い 事業終了後、結果集計、報告

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)		
1. 需用費	45	印刷製本	11	11	45	11		
2. 役務費	133	通信運搬	125	135	133	141		
3. 委託料	633	歯周疾患検診委託料	371	535	633	710		
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)	千円	507	681	811	862	
1. 国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	541	2. 都道府県支出金	千円	338	454	541	574	
3. 地方債	0	3. 地方債	千円					
4. その他	0	4. その他	千円					
前年度比増減理由:		5. 一般財源	千円	169	227	270	288	
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人員費	正規職員従事人数	人	0.09	0.09	0.09	0.09
事業起案、関係資料作成、広報原稿、歯科医師会契約・連絡調整、申込者への通知発送事務、検診結果処理・入力、実績報告			延べ業務時間	時間	176	176	176	176
のべ業務時間176時間			人員費計(B)	千円	669	669	669	669
			トータルコスト(A)+(B)	千円	1,176	1,350	1,480	1,531

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 実施期間は6月～9月の4か月間で市内指定歯科医院にて、口腔内診査と歯科保健指導を実施した。周知方法は節目勸奨通知、広報、ホームページ、ポスター、健康だよりの新聞折込を行い、がん検診等と同時に申込を実施した。	ア 歯周疾患検診申込者数	人	182	286	281	280
	27年度計画(27年度に計画している主な活動) 実施期間、周知方法は昨年と同様。新規に電子申請による申込を実施し、また肝炎検診勸奨はがきからも申込できるようにした。	イ 歯周疾患検診受診者数	人	106	153	181	180
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	ウ 歯周疾患検診指定歯科医院数	件	31	32	32	31
	今年40歳、50歳、60歳、70歳になる市民	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 歯周疾患検診対象者数	人	3,672	3,729	3,682	3,412
上位目的	歯周疾患(歯周病)を早期発見、早期治療につなげることで、歯の喪失を予防できる	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	ア 要指導・要治療者数 (早期発見・治療が歯の喪失を予防するため、要指導・要治療者を見つけ、指導・治療につなげることが成果と考える)	人	95	141	167	165
	市民が健康を保つことができる	イ 歯周疾患検診受診率	%	2.9	4.1	4.9	5.3
		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
		ア 平均寿命 (国勢調査結果により算出)	年	男 77.3 女 83.8 (H17年)	男 79.0 女 86.1 (H22年)	男 79.0 女 86.1 (H22年)	男 79.0 女 86.1 (H22年)

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
老人保健法(現在の健康増進法)に基づき、40歳、50歳を対象に実施。さらに平成16年度から60歳、70歳を対象に追加。旧旭市、旧飯岡町、旧干潟町は集団で、旧海上町は個別で実施。平成18年度から統一し、市内協力歯科医院へ委託し個別検診で実施している。	平成22年4月「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」が施行。平成23年8月には「歯科口腔保健の推進に関する法律」が施行となる。さらに、平成26年3月に「旭市歯と口腔の健康づくり推進条例」が施行された。また、平成27年3月に「旭市健康増進計画」が策定された。	旭市歯科医師会からは受診者は少ないが成人期に必要な検診であり、毎年継続実施してほしいと要望はある。

事務事業名	成人健康診査事業 歯周疾患検診	課名	健康管理課	班名	支援班
-------	--------------------	----	-------	----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ 歯・口腔の健康は全身の健康を保持増進するためにとっても重要であり、政策体系に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 健康増進法に基づいて、40・50・60・70歳の節目に実施しているので妥当である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 旭市歯と口腔の健康づくり推進条例、旭市健康増進計画に基づいて、実施しているので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 受診率は増加傾向にあるがまだ低い状況である。近隣市も実施しているが、受診率は低い。
	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？ 受診者を増加させるため、申込み受診勧奨を工夫し継続して実施することで成果の向上が期待できる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：( ) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 類似事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 委託料は歯科診療報酬点数から算出しているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 検診は旭市歯科医師会へ委託、その他業務は契約、通知、報告等事業に必要な業務のため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 広く周知し、対象者には公平に受診の機会があるので適正である。

## 3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

<b>(1) 1次評価者としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	個別検診にしてから9年が経過した。自分の都合のよい日時に受診できるメリットがあり、集団検診で実施していた時より大幅に受診者数は伸びた。さらに受診率をあげるために、H23年度よりがん検診と同様時申込、同時期実施に変更したため、申込者数は大幅に伸びた。しかし、申込者の6割しか受診につながっていない。	
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

<b>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性</b>		<b>(3) 改革・改善による期待成果</b> (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
<b>(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？</b>																							
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
平成27年9月	① 申込者への受診勧奨を行う。																						
<b>(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</b>																							
① 申込者の未受診を減らすために、受診勧奨ハガキを6月と8月に実施する。また広報の回数を増やす。																							